

ト添付)ア、ワレヲ以テ全總全盟ハ五月廿八日
日本新ニ中央委員會ヲ開キ前記英同協國
代表者一連信ヲ議題トシテ付議ヲナシ其
結果

一吾人ハ有用有害ナル西比利亞駐兵ニ及對
シ即時撤兵ヲ要求ス

二吾人ハ世界經濟ノ十弊ニ鑑ミ對露通商ヲ
速ニ完結センコトヲ要求ス

トノニ項ヲ決議シ該決議文ハ翌廿九日於
文治松尾勳吉野お正加藤勘十内田嘉七福島

金沢郎山本壺藏坂口義治(関東)藤原文六本村
鏡吉坂本重吾(関西)ハ首相陸相外相各官即チ

訪問シタルニ各大臣不在ナリシ爲メ各代理

者ニ會見前掲決議文ヲ提出シ之ヲ実行ニ就
キ事情スル処アリ

元來日本所屬全盟近時ノ主義トシテハ直
接所屬同盟ニ同聯セサル政治運動ハ之ヲ避

クルノ方針ニシテ其主張トシテハ昨年十月
ノ大會ニ於テ軍備ノ撤廃ヲ決議シタルニ之

ニ伴フ東洋運動ヲナシテ今固ノ運動
ハ其意味ニ於テハ資本主義ヲ對象トスルニ

ノナルニ直接所屬同盟ニ關係ナシニ惟フニ全
總全盟ハ常ニ國際的運動ヲ標榜セルコト

テ即チ國際的運動ノ第一地歩ナリトシ
テ此種運動ニ出テタルニアラスマト認メラ

ルハ莫ナキニアラズ